

国際ボランティア学会

ニュースレター NO. 16

2010年10月14日
国際ボランティア学会事務局
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-2
大阪大学人間科学研究科
グローバル人間学専攻内
Tel & Fax : 06-6879-8064
E-mail: volsocio@hus.osaka-u.ac.jp

1. 第12回大会へのお誘い
2. 第12回大会概要(第一報)
3. ミリアム・ウエレ博士(野口英世賞受賞者)
4. 第11回隅谷三喜男賞の公募のお知らせ
5. 会費納入のお願い

1. 第12回大会へのお誘い

内海成治 国際ボランティア学会会長

ようやく涼しくなってきましたが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか？

さて、現在、2011年2月19日(土)ー20日(日)に第12回大会を実施すべく準備中です。第12回大会は茅ヶ崎にあります文教大学湘南校舎で実施いたします。

分科会における報告およびポスター報告の募集を開始いたしますので、会員の皆様におかれましては、奮って御応募いただければ幸いです。詳細のプログラムについては2011年1月ごろ、改めてニュースレターでご案内いたしますので、何とぞよろしくお願いたします。

実行委員長 林 薫 (文教大学国際学部教授)

2009年の政権交代以来「新しい公共」という言葉が政治のキーワードになりました。2010年5月に政権交代があった英国でもキャメロン新首相が打ち出した“Big Society”の考え方が注目を集めています。賛否はあると思いますが、いずれも、「何が公共」で「誰がそれを提供」するのかという問題です。

市民の自発的、能動的なアクションが公共をどう再定義し、どう社会の変革を促していくことができるのか、また国境を越えた市民のつながりがグローバルな問題をどのように解決していくことができるのか、などのわれわれが直面する課題をラジカルに、かつ楽しく議論する場にしていきたいと思います。

詳細プログラムは追ってご連絡いたしますが、報告応募を開始いたしますので、皆様の積極的なご参加を期待しております。

2. 第12回大会（第一報）

【日時】2011年2月19日（土）、20日（日）

【会場】文教大学湘南校舎

神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100

東海道線茅ヶ崎駅もしくは小田急線・相鉄線・横浜市営地下鉄線湘南
台駅よりバス 20分

【大会実行委員長】林 薫（文教大学国際学部教授・国際理解学科長）

【大会スケジュール概要】（今後詳細を決定いたします）

2月19日（土）

9:30-11:30 分科会（パラレルセッション 各4報告 2本並行）
11:30-13:00 理事会、
13:00-13:30 総会
13:30-14:30 ポスターセッション
14:30-16:00 共通論題セッション 「国際ボランティア年から10年」
（若い人々の自発的な行動がどのように市民社会を変えてきたか、変えつ
つあるかを議論します）
16:00-18:00 ラウンドテーブル
懇親会

2月20日（日）

10:00-12:00 分科会（パラレルセッション 各4報告 2本並行）
13:00-15:30 公開シンポジウム
（第1回野口英世アフリカ賞受賞ミリアム・ウエレ博士をお招きする予定）

報告応募について

自由研究発表およびポスターセッションの応募を開始いたします。奮って御応募下さい。応募される方は、別紙の「参加・発表申込書」に2010年11月30日までに大会実行委員会あて送りいただきたくお願いいたします。今回は報告のエントリーで、12月初旬にプログラム委員会でセッション構成案等を決めた後、1月中頃締め切りで報告要旨集の原稿作成をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

申込用紙につきましては、同封の「参加・発表申込書」をご覧ください。

申込書送付先

メール：hayashi@shonan.bunkyo.ac.jp

郵送：〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100

文教大学国際学部 林研究室 気付

国際ボランティア学会第12回大会実行委員会

FAX: 0467-54-3722

